

夢と希望を胸に 思い出のつまった学校にお別れ ～市立小・中学校卒業式～



市内の小・中学校卒業式が、3月13日に中学校、3月24日に小学校で行われました。今年度は小学校336人、中学校328人の児童生徒が、学校の先生や在校生、保護者、地域の方々など、たくさんの方に見送られて卒業していきました。

青戸中学校では、式辞で西村禎文校長が「皆さんは卒業して自分で選んだ道に進んでいきます。これからは何事でもできる限りのことをやっていくということが重要です」と述べられました。また、卒業生を祝う会では、在校生らから卒業生へお祝いのことばや歌が贈られました。



▲青戸中学校は、36人が卒業しました。西村禎文校長から卒業生一人一人に卒業証書が渡されました。

大丸小学校では、卒業生が6年間の思い出を俳句にしたためたり、将来の夢や心に残った行事を大きな声で発表したりしていました。徳丸一文校長は「多くの仲間と夢などを語り合って学びの機会を作るようにしていきましょう」と卒業生に式辞を述べられていました。



▲大丸小学校は、3人が卒業しました。涙ぐみながらもしっかりとお別れのことばを伝える卒業生に、保護者は成長を感じて感動しているようでした。

南九州市農業青年クラブ設立総会 ～未来の農業を担う青年の会～

3月19日、市、南薩地域振興局、JA、農業委員会など多数の関係者が出席され、南九州市農業青年クラブ設立総会が開催されました。これまで旧町毎に活動が続けてきた3つの青年クラブが、今回、一つのクラブとして総勢69人で立ち上げました。初代会長の山下信一郎さんが「3地域の農業青年クラブが一つになったことは大変うれしく、期待も膨らみます。会の発足を機に、さらなる農業・地域の発展を目指して頑張っていきたいです」と力強い抱負を述べました。



▲霜出市長は「新しい仲間達との活動を通じて、自分自身を高め、技術力・経営力を磨き、魅力ある担い手となっていただくことを期待しています」と激励の言葉を送られました。

▼4月1日からは、社会福祉法人知覧中央福祉会が星の子保育園として運営を引き継ぎます。



公立保育所として最後の卒園・修了式 ～南九州市立星の子保育所～

3月15日、市立星の子保育所で公立として最後の卒園・修了式が行われました。16人の卒園児一人一人に卒園証書が渡され、みんな元気よく笑顔で受け取りました。保護者の皆さんは子どもの成長に目を潤ませていました。星の子保育所は平成13年4月に開所、平成25年度までに176人（男児98人、女児78人）が卒園しました。

「春のうまかもん市」開催 ～南九州市特産品協会 初の試み～

3月21日、南九州市特産品協会(会長:梅木康博)は、創設初の試みとして、道の駅川辺やすらぎの郷で「春のうまかもん市」を開催しました。協会員



▲神殿小ホテル太鼓の演奏を皮切りに、はしご車の体験乗車、お楽しみ大抽選会なども行われ、たくさんの来場者でにぎわいました。

が持ち寄った自慢の特産品販売のほか、趣向をこらした催しに買い物客だけでなく子どもたちも大いに楽しんだ1日となりました。

「親」ウナギの放流で資源回復を ～南九州市颯娃町鰻種苗採捕組合～

3月28日、南九州市颯娃町鰻種苗採捕組合が親ウナギの放流を行いました。年々減少しているシラスウナギ資源が少しでも回復するよう計画され、濱田



▲青戸保育所の園児約10人が無事に地元の川で育てて欲しいとウナギを川に放流しました。

茂久組合長がウナギ放流の意義を説明した後、参加した子どもたちが大切に放流していました。

「少年」消防クラブによる火災予防広報 ～宮脇・九玉少年消防クラブ～

3月1日から7日にかけて実施されました平成26年春季全国火災予防運動期間中に、颯娃地域の宮脇・九玉両少年消防クラブによる火災予防広報が行



▲九玉少年消防クラブの子どもたちによる火災予防広報の様子。

われました。両クラブの子どもたちは、地域内を救急車や消防車に乗って、元気よく朗らかに火災予防を呼びかけていました。

「子ども」用車イスの寄贈 ～鹿児島県グラウンド・ゴルフ協会～

市社会福祉協議会に子ども用車イス3台が贈呈されました。これは鹿児島県グラウンド・ゴルフ協会から送られたもので、川辺グラウンドゴルフ協会主催



▲子ども用の車いすは、今まで所有がなく、一時的な児童の使用、ボランティア体験などに利用します。

の大会で、ホールインワンした競技者が100円以上の寄付をし、基金として積み立てたものを活用するものです。

「リサイクル」活動で点字器を寄付 ～松山小6年生が市社会福祉協議会へ～

松山小学校の6年生20人は、入学時に目的を持って6年間継続して全員で活動しようと、ペットボトル、アルミ缶、段ボールなどのリサイクル活動に取り組んでき



▲6年生は「4年生で点字の授業もあるし、点字教室講座もあると聞いたので、いろいろな人に活用して欲しい」と話してくれました。

ました。活動益金が30,632円となり、小型点字器20セットを購入し、残金とともに市社会福祉協議会に卒業前の3月19日に寄付しました。

「ポケット」パークに芝桜を ～颯娃町各団体が協力～

3月29日、颯娃町にある広域農道沿いのポケットパークで、颯娃町内各団体の協力のもと、芝桜の植栽が行われました。企画した永谷純治さんは「多くの方



▲皆さん一つ一つ思いを込めて約200本の芝桜を植えていました。来年の春には見頃を迎えそうです。

の協力を得て、今回の活動を行うことができた。自分の植えた芝桜に愛着を持ってもらい、気にかけてもらえたら嬉しい」と話しました。

土砂災害防止に関する絵画 表彰 ～青戸小学校4年 別府 大也くん～

土砂災害防止月間に募集した絵画・作文の県知事表彰優秀賞の伝達式が3月3日青戸小学校で行われ、別府大也くんが「絵画・小学生の部」で表彰されました。



▲清川課長が「今回の受賞で児童や家族らが防災に関心を持ち、理解を深める良い機会になることを願います」と言葉を掛けました。

清川南薩地域振興局河川港湾課長が表彰状と副賞を贈呈。別府くんは「絵を描くのは苦労したが、頑張った甲斐があった」と喜びました。

鹿児島県農業功労者賞 受賞 ～大渡 高司さん（川辺地域）～

3月25日、県庁で鹿児島県農業功労者表彰の授賞式が行われました。受賞した大渡さんは、南薩地域の酪農ヘルパー組合を設立し、組合長として酪農経営に



▲大渡さん（前列右）は、昭和35年から酪農経営を開始し、地元高田酪農組合のリーダーとして長年にわたり活躍しています。

ゆとりをもたらしました。このような酪農振興への多大な貢献が認められ、今回の表彰となりました。大渡さんも大変喜んでいました。

期限内納付の大切さを呼びかけます ～消費税完納推進宣言式～

3月26日、南薩地区税務関係団体長連絡会（本坊松美会長）が「消費税完納推進宣言式」を行いました。これは4月から消費税が8%になることをきっかけに行われ、「広く



▲代表で知覧間税会大坪憲市会長が「消費税完納推進」宣言を読みあげ、知覧税務署中園直樹署長に渡しました。

地域の方々にも期限内納付の大切さを呼びかけます」と宣言。式のアとは、市に、広報旗設置のお願いをされました。

海岸愛護表彰 伝達式 ～大川自治公民館（頤娃地域）～

海岸愛護に尽力した団体などをたたえる県知事表彰の伝達式が3月10日南九州市役所で行われ、大川自治公民館が表彰されました。30年前から清掃



▲米満館長（写真中央）に、森南薩地域振興局長（写真右）が表彰状を贈呈しました。

活動を実施してきた米満孝二大川自治公民館長は「今後もきれいな海岸を維持できる様に頑張りたい」と抱負を語りました。

百歳おめでとうございます ～石窪 サチさん（大正3年2月23日生）～

石窪サチさん（頤娃町御領）が100歳を迎えられました。石窪さんが生活している、しせいそう有料老人ホームを霜出市長が訪問し、ご家族、施設利用



▲娘さんたちに囲まれて。石窪さんの長生きの秘訣は、無理せず自然に生きることだそうです。

者らと長寿をお祝いしました。施設利用者から歌のプレゼントを受けた石窪さんは、元気な声でお礼のあいさつをされました。

未来へはばたけ 新入隊員！ ～南九州市自衛隊新入隊員壮行激励会～

3月8日、富屋旅館において平成26年南九州市自衛隊新入隊員壮行激励会が行われました。激励会には霜出市長、鹿児島地方協力本部内野本部長や各地



▲今年は防大1人、海上1人、陸上2人の計4人の方が入学・入隊されます。

区父兄会の皆さんが出席し激励と期待の言葉を贈りました。新入隊員は、期待と不安を胸に自衛隊員としての気持ちを新たにしていました。